

目黒会 北海道支部 令和8年度 支部総会

日時： 令和8年9月26日（土） 16時00分より

会場： サッポロビール園 開拓使館「はまなす」

参加者： 麻田（1972JR）、小川原（1973JR）、吉井（1979I）、関（2000IS）
長嶺（1978B）、酒井（1974P）、藤川（2010J）、倉田（1990N）
水谷（1999M）、浜中（1987C）、本庄（1982R）

来 賓： 電気通信大学 村松 正和 学長、目黒会 森 淳 会長（1967C）
※順不同、カッコ内は入学年度および学科

総会議事：

令和7年度 北海道支部活動報告、支部収支報告
令和8年度 活動予定（これまでの活動報告）、予算案報告
支部役員補選 異動による欠員の補充、役員協議により麻田さんを選任
⇒ いずれも拍手にて承認

来賓挨拶・講演：

村松正和 電気通信大学学長
「電気通信大学の過去・現在・未来」

- この春就任しました
 - ・ 入学式で伝えた3つのこと ①勉強しよう、②オタクになろう、③伝える努力をしよう
 - ・ 電通大の「小さいけれども濃い」文化を大切にしながら、次の時代に向けて変えるべきところは変えていきたいと考えている
- 電通大の現在・・転換点
 - ・ 国からの運営費交付金は減ったまま ⇒「足りない分は大学で稼げ」という時代
 - ・ 18歳人口減少、AIの台頭、次の最先端は何？ ⇒教育・研究・経営のあり方を抜本的に変える必要がある
 - ・ 「高密度情報理工系単科大学」であり、AI、DS（データサイエンス）、量子に対応できる我々には現在の状況は追い風 ⇒この追い風をきっちり捉え、将来への基盤を築くのが私の務め
- 電通大の教育研究のこれから
 - ・ 「AIを創りAIを使いこなす」ことのできる人材育成プログラムを実施
 - ・ 工房教育、ゲーム開発人材育成、量子人材育成
JICAと連携し、海外の有力大学へ留学生（学生ボランティア）を派遣
 - ・ 円筒形ペロブスカイト太陽電池、量子ドット研究
 - ・ キャンパスの進化：e-Nexus 棟利用開始、共創進化スマートビレッジ

森 淳 目黒会会長

- 目黒会活動方針
 - ・ ひきつづき、大学との連携を重視、在校生へのサービス強化
 - ・ 同窓生へのサービス強化：長寿の祝いとして新たに傘寿（80歳）と百寿（100歳）を追加

○ ホームカミングデー

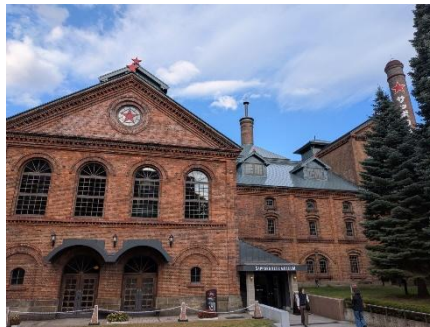
- ・ 今年7月に第13回ホームカミングデー開催 ⇒多くの会員に参加いただいた
- ・ 各支部がエントリーした「お国自慢地酒コンテスト」にて北海道支部の日本酒（※）が2位タイ ⇒一昨年の2位、昨年の3位に続き好結果で毎年良いチョイスに感謝
※ 国稀 特別純米生貯蔵「みずおと」

○ 『同窓会ラウンジ』

- ・ 『同窓会ラウンジ』（<https://megurokai.jp/home2/>）において季節にあわせた写真投稿や各種メッセージを募集 ⇒北海道からの投稿が少なく残念、積極的な参加を期待

サッポロビール博物館見学会

支部総会に先立ち、この夏にバリューアップオープンした「サッポロビール博物館」を見学。15時より博物館に入館し、シアターで歴史を学んだ後、音声ガイドを耳に各自のペースで展示を見学。サッポロビールの歴史ではあるが、北海道開拓の歴史の一部を学ぶことができました。



懇親会

18時より支部総会会場にて懇親会。どさんこにはお馴染みの、東京ではなかなかお目にかかれない「伝統的なジンギスカン」をはじめ、各種のチルドラム肉などを「現代風にアレンジされたジンギスカン鍋」（IH対応）を囲んで、サッポロビール自慢の各種ビールを片手にワイワイ。

13名と少し寂しい人数ながら、「そもそもジンギスカンは・・・」や「昔はねえ・・・」などどさんこならではの話題も交え、お開きまでの2時間余、沢山の笑顔と歓談の声があふれました。



※目黒会では従来の『卒年（元号2桁）＋学科略号』での表記をやめ、『入学年（西暦4桁）＋学科名称』を使用しておりますが、文中では文字数の関係から『入学年（西暦4桁）＋学科略号』を使用しています。

総会後に記念写真

